

6. 発表業績・報道実績

(1) 学術誌・学会等での発表

発表業績	発表(発明)者 所属	発表(発明)者 氏名	発表誌. 巻(号), 掲載頁 (最初の頁-最終頁), 発行年
島根県沿岸におけるケンサキイカの漁場形成要因の解明と漁況予測	海洋資源科	金元保之	平成 31 年度日本水産学会春季大会講演要旨集, 7, 2019. 3
ケンサキイカ共同研究報告書 (島根県の部分)	海洋資源科	金元保之	ケンサキイカ共同報告書, 2019. 3
魚類 4 種の部位別 K 値の差異	利用化学科	開内 洋	平成 30 年度水産利用関係研究開発推進会議利用加工技術部会研究会資料, 62-63 (2018. 11)
島根県における近年の魚病発生状況について	浅海科	石原成嗣	平成 30 年度西部日本海ブロック魚類防疫対策協議会 (2018. 11. 7)
サルボウ養殖の低コスト化にかかる検討について	浅海科	石原成嗣	平成 30 年度西部日本海ブロック増養殖担当者会議 (2018. 11. 28)
屋外培養餌料を用いたサルボウガイの種苗生産試験	浅海科	佐々木正	平成 30 年度二枚貝類飼育技術研究会 (2018. 12. 18-19)
島根県におけるアカアマダイの資源変動について	浅海科	松本洋典	平成 30 年度日本海ブロック資源生産部会アカアマダイ研究会 (2019. 1. 23)
島根県近海の海水温の変化と沿岸の藻場・海藻類への影響	浅海科	向井哲也	平成 30 年度水産分野における気候変動影響をテーマとした意見交換会 (2019. 2. 12)
島根県における近年の魚病発生状況について	浅海科	石原成嗣	平成 30 年度中国 5 県水産系広域連携担当者会議(種苗生産技術グループ) (2019. 2. 13)
日本海西部海域における有害赤潮プランクトンの出現動態監視および予察技術開発について	浅海科	松本洋典	平成 30 年度漁場改善推進事業のうち赤潮被害防止対策の開発事業結果検討会 (2019. 2. 19)
日本海南西海域のアカアマダイ、アカムツの資源状況の把握	浅海科 海洋資源科	松本洋典 金元保之	平成 30 年度栽培漁業総合推進事業研究成果報告会 (2019. 2. 27)
藻場分布状況モニタリング調査およびワカメとハバノリの養殖技術開発	浅海科	向井哲也	中国 5 県公設試験研究機関共同研究(藻場造成技術の確立・ガラモ場)担当者会議 (2019. 3. 5)
島根県における魚病発生状況について	内水面科	岡本 満	近畿中国四国ブロック内水面魚類防疫検討会 (2018. 11. 21)

(2) 報道実績

日付	新聞社	記事	担当部署
H30/04/08	中国	県機船底曳網漁業連 金坂会長に水産庁長官賞 小型ノドグロ乱獲防止に成果 GPS活用 機動的に禁漁区設定	海洋資源科
H30/10/05	みなと	島根県ケンサキイカ期待 県水産技術センター 秋季漁前年超え予想	海洋資源科
H30/12/11	読売	宍道湖シジミ資源量半減 10月前年比、県調査 餌不足や猛暑影響	内水面科
H/31/01/30	山陰中央	海の厄介者は「高齢者スーパーフード」 海藻アカモク特産品に浜田の住民グループ レシピ開発奮闘	利用化学科
H31/02/27	山陰中央	スルメイカ“高値の花”不漁続き消費者購入ためらう	海洋資源科
H31/03/03	山陰中央	中海・宍道湖圏域 中海漁協組合長 外谷 久人さん 伝統の食材を守り、育む	浅海科